



学校だより

ひびき

令和3年4月30日

5月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

4月の児童の様子

学校長 大塩 啓介

新年度も一か月が過ぎました。この間、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出され、また一年前に戻った感じすらいたします。「変異株」と言われる新しい型のウイルスはこれまで以上に子どもたちへの感染力が強いとの報道もあり、学校としても戦々恐々としているところです。

こうした中、保護者の皆様方には、4月に予定されていた授業参観や家庭訪問、引き取り訓練などの変更・中止をお願いし、大変申し訳ございませんでした。昨年度、学年ごとの運動会以外は一度もお子様の様子を見ていただく機会がなかったことを、大変残念に感じていたところ、今回もこのような事態になってしまいました。一日も早く解除され、ご覧いただける日が来ることを願っております。

この4月の児童の様子についてお伝えいたします。

始業式の当日、児童は今年度をどのようにスタートさせるのか、ワクワクしながら様子を見ていました。クラス替えの紙をみて、新しい学年の列のところに並びます。昨年度は始業式以来、全校で集まることは一度もなかったので、ちょうど一年ぶりの全校での集合となりました。児童が並び始めてから様子を見てみると、思いのほか整然として静かでした。もっと、ざわざわしながら並ぶのかと思っていたのですが、旧学年の先生の指示で、素早く並ぶことができていました。教務主任が密集を避けるために周りの児童との間隔をとるよう指示をしたところ、これも静かに上手に広がることができました。私が朝礼台に上り、児童を見回すとしっかりと見て話を聞こうとする態度にうれしく思いました。また、私語もなく、今年度のスタートの話を聞いていました。副校長先生の話によると、着任以来一番しっかりと話が聞けているとのことでした。コロナ禍の中であって、児童の成長を感じることができました。

新年度から、中休みに、手洗いの徹底をすることで、鉄棒などの遊具を使ってよいこととしました。待ちに待っていたのか、遊具のところにはきちんと並んで順番待ちをする児童の姿がありました。獅子ヶ谷小学校には、外遊びの好きな児童が本当にたくさんいます。高学年と低学年で休み時間を分けているので、その時間には外に出て思いっきり体を動かしています。

授業中も、足を地面に着け、よい姿勢で学習に取り組む姿が見られます。児童に放送で、「目を見て話を聞くと勉強がよくわかるようになる」ことを伝えましたが、児童はすぐに実践していました。

昨年からの良い流れのまま、新年度を迎えています。この調子を一年間続けていけたらと願っています。児童の様子については学校ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。